

## 1. Course Description

国家試験に対応した項目の内容を復習し確実な実力を身に付け、臨床的能力が修得できる国家試験対策授業です。模擬試験など行い、国家試験形式に慣れることも行います。

また、授業時の質問に対してグループディスカッションして答えてもらいます。

この授業では、DP2・3に関する知識、技法、態度を習得します。

本科目は、実務経験のある教員による授業です。担当教員は医療機関(整形外科・リハビリテーション科)で従事しており、授業では、臨床例、課題などを題材とした講義、実習を行います。

## 2. Course Objectives

学生は国家試験の出題基準における内容の理解だけでなく、臨床的能力も修得し、国家試験に合格する実力を身に付けることが目的である。

## 3. Grading Policy

期末筆記試験(100%)で評価を行い、60%以上を取得した者を合格とします。

2/3以上の出席がない学生の評価は行いません。

全体に対するフィードバックとして、第15回授業でまとめと振り返りを行います。

## 4. Textbook and Reference

### Textbook

全国柔道整復学校協会 監修 柔道整復学・理論編 改訂第6版 南江堂

全国柔道整復学校協会 監修 柔道整復学・実技編 改訂第2版 南江堂

## 5. Requirements(Assignments)

予習としてLMSで指定された課題についてまとめてから授業に臨んで下さい。

教科書の指定の部を読み(授業内容の項目およびLMS)、全体の概要をとらえておき、難読と思われる用語については事前に読めるよう調べて下さい。

復習としてLMSで指定された項目についてまとめ、さらに確認問題を解いて下さい。

おおよそ予習に1時間、課題と問題解答の復習に2時間を見込んでいます。

## 6. Note

① 座席は教員が指定します。

② 7.授業内容に沿って授業を進めますが、状況により調整を行う場合があります。

## 7. Schedule

- [1] オリエンテーション、国家試験の傾向について
- [2] 模擬試験1(前半)
- [3] 模擬試験1(後半)
- [4] 模擬試験の要点と解説
- [5] 国家試験演習と要点の解説
- [6] 定型的鎖骨骨折
- [7] コーレス骨折(定型的骨折)
- [8] 中手骨頸部骨折
- [9] 前半授業のまとめ
- [10] 模擬試験2(前半)
- [11] 模擬試験2(後半)
- [12] 肩鎖関節上方脱臼
- [13] 肩関節烏口下脱臼
- [14] 肘関節後方脱臼(肘内障)
- [15] 後半授業のまとめ